

# 桐生が岡動物園だより

まいにちかいえん 毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園～

2012年6月号

No.2



# ずー ZOO っといっしょ

## 今月のニュース！

### ライオン舎 リニューアルオープン！！

オスライオンがオシッコを飛ばすので檻の前にアクリルパネルが付いているのですが、これがライオンをととても見えにくくしていました。そこで、補修にともない一部ですが檻の部分を強化ガラスに変えました。ライオンの表情や迫力がより身近に感じていただけると思います。

## ちょっとひと工夫

### こどもどうぶつコーナー編

どうぶつのなまえや注意書きを見やすくかわいいものにしています



さわると  
あったかいよ

どうぶつとふれあう場所なので毎日どうぶつにブラッシングや水洗いをして清潔に保つようにしています



来園者のみなさまとのコミュニケーションを積極的にとしています

### ライオン編

《ライオンがいきいき暮らせるように》ガラスの工事といっしょに、運動場に遊具を設置するための『止め金具』をつけました。野生とくらべたら、狩りをするライオンにとってはせまい運動場なので、遊具で遊んで退屈しのぎになってくれればなあと思っています。

タイヤで楽しそうに遊ぶゴウちゃんとアイちゃんの姿をぜひ見てください。



## サル山の現状～平成24年5月～

サル山では平成23年秋に順位争いが起こりました。そして、平成21年からいちばん強い(第1位)オスだったキビナゴ(N1)10歳が退き、平成24年5月現在ではワシ(K37)16歳が第1位オスになりました。一方、メスたちにも順位があり、オパールアイ(N5)がワシ(K37)と共にいることで優位な立場を保っているように見えます。最近ではこの2頭がくるとエサの周りから離れていく個体もいます。

第1位 K37

ワシ 16歳



第2位 K48

マテガイ 13歳



第3位 K46

タイム 14歳



# 特集

## 桐生が岡動物園の人気者 アミメキリン

それぞれのキリンを紹介します

### コタロウ 幸せを呼ぶキリン（自称）

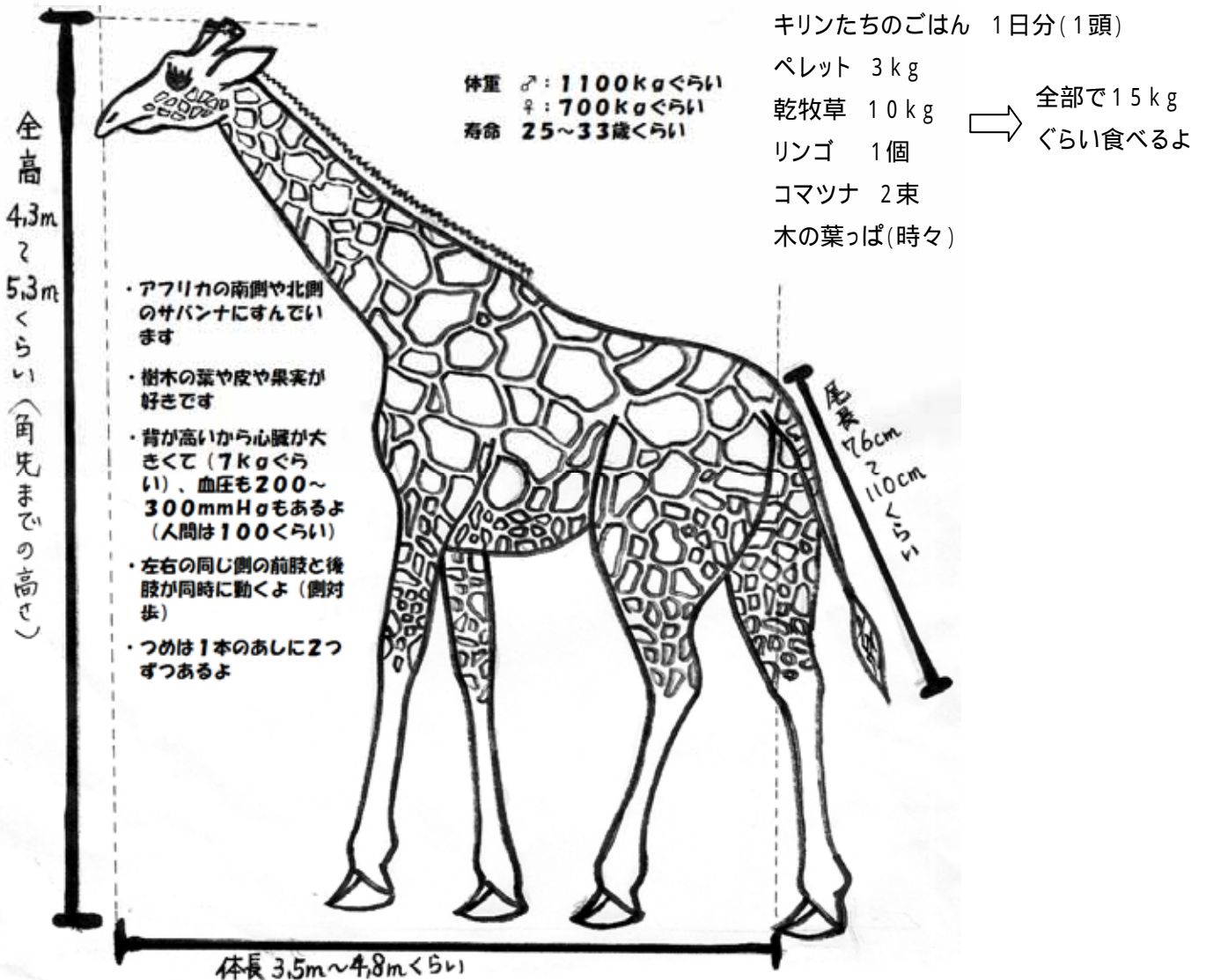
平成21年生まれの育ち盛りの男の子。平成23年10月30日に羽村市動物公園からやってきました。首にハートマークがあるよ。見つけると幸せになれるかも?!探してみてね

### キリカ

平成20年生まれの年頃のお姉ちゃん。桐生生まれの桐生育ち。人なつっこくて、首がちょっと曲がっています。ご飯をいっぱい食べる元気娘

### キサラギ

平成3年生まれのベテランお母さん。宇都宮動物園で生まれて平成5年からここで暮らしています。今までに9頭も子どもを産んでいる子育て上手なお母さん。ちょっと臆病で神経質なのがたまにキズ?



キリンも人間がする狩りや、生息地の破壊によって絶滅の危機にあるんだ。今ではキリン全体で15万頭くらいしかいなくなってしまったんだ。日本の動物園でもキリンを増やそうと頑張っているんだよ。いつまでもキリンが見られるように、どうしたらいいか、みんなも一緒に考えよう。